

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)

マーケットヘッジあり

マンスリーレポート
基準日 2020年10月30日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)			
	ファンド	MSCI AC Asia Index (円ベース)		
過去1か月間	4.52	0.17		
過去3か月間	4.50	4.52		
過去6か月間	19.15	15.37		
過去1年間	25.31	6.27	第1期 2020/2/27	0
過去3年間	-	-	第2期 2020/8/27	120
設定来	25.71	10.16	設定来累計	120

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
※当ファンドにベンチマークはありません。
参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。
詳細は、本資料7頁をご参照下さい。

【資産配分】

資産	比率
SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)	79.7%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	20.3%

※比率は対純資産総額

【国・地域別配分】

国・地域	比率
日本	35.8%
中国	35.3%
韓国	7.2%
シンガポール	2.9%
その他	6.2%
現金等	12.6%
株式先物(売建)	-58.3%

※国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

【通貨別配分(株式)】

通貨	比率
日本円	35.8%
香港ドル	21.1%
米ドル	14.2%
韓国ウォン	7.2%
中国元	3.7%
その他	5.4%
合計	87.4%

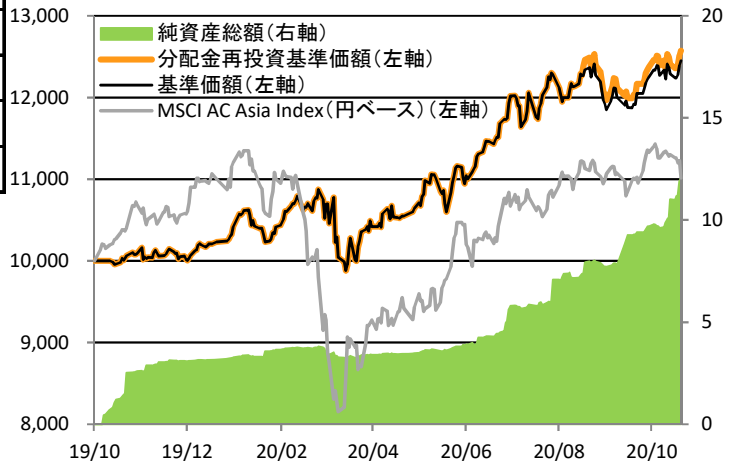
※【国・地域別配分】【通貨別配分(株式)】【業種別配分(株式)】は、当ファンドが投資する投資信託証券に関する情報で、「比率」は当該投資信託証券の純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
12,449 円	12,431 円	12.06 億円

※2019年10月11日(設定日前営業日)を10,000として指数化(円) (億円)



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。詳細は、本資料7頁をご参照下さい。

※基準価額は、信託報酬等控除後です。

※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【業種別配分(株式)】

業種	比率
一般消費財・サービス	25.4%
ヘルスケア	16.7%
コミュニケーション・サービス	13.7%
資本財・サービス	10.8%
生活必需品	9.3%
情報技術	7.7%
金融	1.8%
素材	1.0%
エネルギー	0.9%
合計	87.4%

※業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

※比率は小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア) マーケットヘッジなし

マンスリーレポート
基準日 2020年10月30日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

【運用実績】

	過去のパフォーマンス(%)		直近の分配実績(円)		
	ファンド	MSCI AC Asia Index (円ベース)			
過去1か月間	3.39	0.17			
過去3か月間	8.10	4.52			
過去6か月間	30.48	15.37			
過去1年間	31.34	6.27	第1期	2020/2/27	0
過去3年間	-	-	第2期	2020/8/27	0
設定来	32.39	10.16	設定来累計		0

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
※当ファンドにベンチマークはありません。
参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。
詳細は、本資料7頁をご参照下さい。

【資産配分】

資産	比率
SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジなしクラス/円建)	92.8%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	7.2%

※比率は対純資産総額

【国・地域別配分】

国・地域		比率	
株式	中国	38.8%	94.4%
	日本	35.7%	
	韓国	7.9%	
	インドネシア	4.6%	
	その他	7.4%	
現金等	5.6%	5.6%	

※国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

【通貨別配分(株式)】

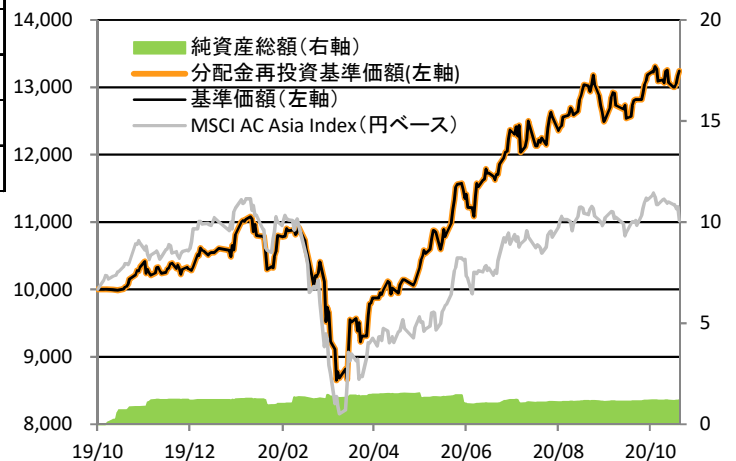
通貨	比率
日本円	35.7%
香港ドル	23.1%
米ドル	15.6%
韓国ウォン	7.9%
インドネシアルピア	4.6%
その他	7.5%
合計	94.4%

※【国・地域別配分】【通貨別配分(株式)】【業種別配分(株式)】は、当ファンドが投資する投資信託証券に関する情報で、「比率」は当該投資信託証券の純資産総額に対する比率です。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
13,239 円	13,220 円	1.17 億円

※2019年10月11日(設定日前営業日)を10,000として指数(円)



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。詳細は、本資料7頁をご参照下さい。

※基準価額は、信託報酬等控除後です。

※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【業種別配分(株式)】

業種	比率
一般消費財・サービス	27.5%
ヘルスケア	17.3%
コミュニケーション・サービス	14.1%
生活必需品	13.5%
資本財・サービス	10.7%
情報技術	8.3%
金融	1.4%
素材	1.1%
エネルギー	0.5%
合計	94.4%

※業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

※比率は小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ (日本・アジア)

マーケットヘッジあり

マンスリーレポート
基準日 2020年10月30日

組入上位銘柄

組入銘柄数	42
-------	----

No	銘柄名	国・地域	業種	組入比率
1	日本電産	日本	資本財・サービス	4.8%
2	ソニー	日本	一般消費財・サービス	4.5%
3	WuXi AppTec Co Ltd	中国	ヘルスケア	4.4%
4	Alibaba Group Holding Ltd	中国	一般消費財・サービス	4.3%
5	キーエンス	日本	情報技術	4.3%
6	ソフトバンクグループ	日本	コミュニケーション・サービス	3.7%
7	リクルートホールディングス	日本	資本財・サービス	3.3%
8	JD.com Inc	中国	一般消費財・サービス	3.2%
9	Li Ning Co Ltd	中国	一般消費財・サービス	3.2%
10	シマノ	日本	一般消費財・サービス	3.1%

* 業種は、世界産業分類基準 (GICS) の分類に基づきます。

* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	国・地域	銘柄概要
1	日本電産	日本	日本電産は、世界有数の小型精密モーターメーカー。同社の製品は、主にハードディスクや光ディスクドライブに使用される。積極的なM&Aで事業を拡大。
2	ソニー	日本	ソニーは、電機メーカー。個人・法人向けに、オーディオ、家庭用ゲーム機、通信機器、電子部品、IT(情報技術)機器など製造。音楽、映画、コンピューターゲーム、オンラインゲーム、金融なども手掛ける。
3	WuXi AppTec Co Ltd	中国	薬明康德[ウーシー・アプテック] (WuXi AppTec Co., Ltd.) は、製薬会社。抗体医薬品、バイオ医薬品などを手掛ける。
4	Alibaba Group Holding Ltd	中国	アリババ・グループ・ホールディング (Alibaba Group Holding Limited) は、子会社を通じてインターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供。世界各国で事業を展開。
5	キーエンス	日本	キーエンスは、コンピューター導入による工場生産の自動化 (FA) 機器用のセンサーや制御・計測機器、ハイテクホビーなどを製造。光ファイバー・光電子センサー、プログラマブル論理制御 (PLC) 機器、レーザーマイクロメーター、バーコード読み取り機、ラジコンカーなども手掛ける。
6	ソフトバンクグループ	日本	ソフトバンクグループは、日本の携帯電話等の電気通信事業者やインターネット関連企業等を傘下に置く持株会社。英国の半導体設計大手アーム・ホールディングスの買収や、ソフトバンク・ビジョン・ファンドを立ち上げるなど、次世代を見据えた投資を積極的に展開。
7	リクルートホールディングス	日本	リクルートホールディングスは、仕事、住宅、結婚、旅行、グルメ、美容、クルマ、進学など様々な分野の情報サービスを提供。求人広告や、人材紹介等のサービスも手掛ける。
8	JD.com Inc	中国	JDドットコム (JD.com, Inc.) は中国で事業を展開するEコマース (電子商取引) 企業。ウェブサイトやモバイル・アプリケーションなどを通じて幅広い製品を提供する。
9	Li Ning Co Ltd	中国	李宁[リー・ニン] (Li Ning Co., Ltd.) は、中国の元オリンピック体操選手の李宁氏によって創業されたスポーツ用品メーカー。フットウエア、アパレル、アクセサリなどの製造・販売を手掛ける。
10	シマノ	日本	シマノは、自転車、釣り関連用品、ロウイング (ボート競技) 関連用品などを製造・販売。主製品は自転車の駆動・プレーキ部品や、竿・リール・仕掛けなどの釣り具など。同社は主にアジア、ヨーロッパ、米国に製品を輸出。

* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

※上記記載は当ファンドが投資する投資信託証券に関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ (日本・アジア)
マーケットヘッジなし

マンスリーレポート
基準日 2020年10月30日

組入上位銘柄

組入銘柄数	42
-------	----

No	銘柄名	国・地域	業種	組入比率
1	ソニー	日本	一般消費財・サービス	5.2%
2	WuXi AppTec Co Ltd	中国	ヘルスケア	4.8%
3	Alibaba Group Holding Ltd	中国	一般消費財・サービス	4.7%
4	Nippon Indosari Corpindo Tbk PT	インドネシア	生活必需品	4.6%
5	キーエンス	日本	情報技術	4.5%
6	日本電産	日本	資本財・サービス	4.3%
7	JD.com Inc	中国	一般消費財・サービス	3.5%
8	Li Ning Co Ltd	中国	一般消費財・サービス	3.5%
9	Meituan	中国	一般消費財・サービス	3.4%
10	Wuxi Biologics Cayman Inc	中国	ヘルスケア	3.2%

* 業種は、世界産業分類基準 (GICS) の分類に基づきます。

* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	国・地域	銘柄概要
1	ソニー	日本	ソニーは、電機メーカー。個人・法人向けに、オーディオ、家庭用ゲーム機、通信機器、電子部品、IT(情報技術)機器など製造。音楽、映画、コンピューターゲーム、オンラインゲーム、金融なども手掛ける。
2	WuXi AppTec Co Ltd	中国	薬明康德[ウーシー・アプテック](WuXi AppTec Co., Ltd.)は、製薬会社。抗体医薬品、バイオ医薬品などを手掛ける。
3	Alibaba Group Holding Ltd	中国	アリババ・グループ・ホールディング(Alibaba Group Holding Limited)は、子会社を通じてインターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供。世界各国で事業を展開。
4	Nippon Indosari Corpindo Tbk PT	インドネシア	ニッポン・インドサリ・コーピンド(PT Nippon Indosari Corpindo Tbk)は、パンメーカー。食パン、菓子パン、パン粉、およびラザニア、およびシフォンカップケーキを提供。インドネシアで事業を展開。
5	キーエンス	日本	キーエンスは、コンピューター導入による工場生産の自動化(FA)機器用のセンサーや制御・計測機器、ハイテクホビーなどを製造。光ファイバー・光電子センサー、プログラマブル論理制御(PLC)機器、レーザーマイクロメーター、バーコード読み取り機、ラジコンカーなども手掛ける。
6	日本電産	日本	日本電産は、世界有数の小型精密モーターメーカー。同社の製品は、主にハードディスクや光ディスクドライブに使用される。積極的なM&Aで事業を拡大。
7	JD.com Inc	中国	JDドットコム(JD.com, Inc.)は中国で事業を展開するEコマース(電子商取引)企業。ウェブサイトやモバイル・アプリケーションなどを通じて幅広い製品を提供する。
8	Li Ning Co Ltd	中国	李宁[リー・ニン](Li Ning Co., Ltd.)は、中国の元オリンピック体操選手の李宁氏によって創業されたスポーツ用品メーカー。フットウエア、アパレル、アクセサリなどの製造・販売を手掛ける。
9	Meituan	中国	美团点评[メイトゥアン・ディエンピン](Meituan-Dianping)は、中国国内で電子商取引のプラットフォームなどを運営。フード宅配サービス、シェアバイクサービスなども手掛ける。
10	Wuxi Biologics Cayman Inc	中国	薬明生物技术[ウーシー・バイロジクス](WuXi Biologics (Cayman) Inc.)は製薬会社。抗体医薬品、バイオ医薬品などを開発・製造。研究材料の生成、滅菌保証プログラム、臨床試験、応用分子腫瘍研究なども手掛ける。世界各国で事業を展開。

* 国・地域は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

※上記記載は当ファンドが投資する投資信託証券に関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ（日本・アジア）

マーケットヘッジあり／マーケットヘッジなし

マンスリーレポート
基準日 2020年10月30日

コメント

■市場環境

《日本の株式市場》

2020年10月、日本株式市場の代表指数であるTOPIX（配当込み）は前月末比2.84%の下落となりました。

当月の日本株式市場は、トランプ米大統領の新型コロナウイルス感染などをを受け、先行き不透明感から下落で始まりました。その後、米国議会における追加経済対策法案の成立期待に支えられ、おおむね堅調に推移しました。

月半ば以降は、米国議会で与野党協議が難航し追加経済対策法案の早期成立が不透明となったことや、月末にかけて欧州諸国を中心に新型コロナウイルス感染再拡大が顕著になる中で下げ幅を広げ、月を終えました。

《アジアの株式市場》

当月、アジア株式市場はまちまちの値動きとなりました。

フィリピン、インドネシア、中国などの株式市場が堅調に推移しましたが、タイ、韓国、マレーシアは軟調に推移しました。ニューエコノミーセクターの業績が好調であったことから、テクノロジー・ハードウェア関連、ヘルスケア関連、インターネット関連企業の株価が堅調に推移しました。

中国でも、新型コロナウイルス感染拡大後の経済が力強く回復し、国内消費が反発しました。10月のゴールデンウィーク（黄金周）には6億人以上が国内を旅行しました。新型コロナウイルスの感染状況が改善し、複数のアジア諸国は国境を超えた活動を再開するべく「旅行バブル」に備えています。国境の完全な再開には少なくとも数ヶ月はかかるでしょう。米国大統領選挙の影響で株式市場のボラティリティは高まりましたが、市場関係者はバイデン候補の勝利により、米中関係の緊張が若干緩和すると考えている模様でした。

インドでは、銀行の「資産の質（不良債権）に対するストレス」が予想より小さかったため、業績が予想を上回ったことが、金融セクターのプラスのリターンをもたらしました。インド準備銀行（中央銀行）は、経済を支えるために緩和的な金融政策を継続しました。

インドネシアやフィリピンでも、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が安定的に推移したため、当月の株価は反発しました。

■運用状況

「スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ（日本・アジア）マーケットヘッジあり」は、前月末比4.52%上昇しました。また、「スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ（日本・アジア）マーケットヘッジなし」は、同3.39%上昇しました。

当ファンドでは、日本、アジア地域を問わず「オーナー系企業」に多く投資しています。

「オーナー系企業」、即ち創業者自身が株主として経営にあたっている企業（もしくは創業家の出身者が経営している企業や、経営の一線から退いても株主として経営に関与している企業も含む）は、株価が長期で市場平均を上回る傾向が高いことは多くの研究で明らかになっています。

これは、「オーナー系企業」では長期的な視点で経営が行われているケースが多いことが関係していると考えられます。

（次ページへ）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア) 基準日 2020年10月30日

マンスリーレポート
マーケットヘッジあり/マーケットヘッジなし

コメント

(前ページより)

「雇われの身であるサラリーマン社長」は、自身の任期中のみの業績を気にかけ必要なリスクをとらなかつたり、短期志向の株式市場に迎合した経営に偏りがちです。一方、自らが株主であり経営者でもあるオーナー社長は、自社の長期繁栄にとって真にプラスとなるような経営判断を下すことができると、私どもは考えます。長期目的を達成するために、時には短期業績を犠牲にすることも実行しやすいのです。例えば、不況期や経済危機の状況下では、多くの企業が守りに入りますが、「賢いオーナー社長」は、投資や買収コストが安くなるチャンスとみて、大型設備投資やM&A(企業買収・合併)に踏み切ります。そして、景気回復時に、一気に競合他社に対してリードを広げるのです。

私どもは長期的に優れた投資リターンを実現するために、「オーナー系企業」の株式保有が必要であると考えています。現在の当ファンドの保有銘柄数、構成ウェイトともに約半分程度が「オーナー系企業」で占められています。

しかし、「オーナー系企業」はメリットばかりではありません。リスク要因として「経営者引退に伴う後継者リスク」が挙げられます。

この点について私どもは、社長の後継者育成については「性善説」で臨むことを基本方針としています。即ち、「バトンを渡すまで責任をもって後継者を育てる(或いは後継者を社外から見つける)ことを明言している社長であれば、その後継者は同様に優秀である」という前提に立ち、社長交代後も株式を保有し続けるということです。

ある程度の規模にまで成長した大企業であれば、経営者の引退によって屋台骨が一夜にして揺らぐようなことはあまり起きません。そのため、新社長の手腕が未知数でも、時間をかけて様々な経営判断を検証していくだけの猶予があると考えられます。新社長が資本コストの重要性を理解し、最適な資本配分ができているかなどを評価していくことで、私どもの投資基準のひとつである「卓越した経営者」であるかを見極めるのです。

「カリスマ的かつ強力な創業者社長」が居なくなったからといって、慌てて株式を手放すと大きな機会損失にもなりかねません。例えばApple社(米国)の創業者兼会長兼CEOであったSteve Jobs氏が死去したときでも同社のビジネスが傾いたことはなく、Tim Cook氏が引き継いでから同社の株価は大幅に上昇しました^{*1}。

^{*1} Steve Jobs氏死後1年後の2012年10月から2020年10月迄の期間に同社株価は23ドルから109ドルになり、米国の株式市場平均を大幅に上回る株価上昇となっている(時価総額は6,200億ドルから18,500億ドルに拡大)。

私どもが「オーナー系企業」の経営者(陣)に対して「性善説」で臨むという基本方針は、投資先に対する議決権行使にも表れます。例えば、社外取締役の人数が少なかつたり多様性に欠けていたとしても、私どもは機械的に反対票を投じることはありません。現経営陣のこれまでの実績を見て私どもが満足のいく内容であれば、「問題なし」とします。

以上、私どもの「オーナー系企業」に対する基本的なスタンスがご理解いただければ幸いです。

今後も日本を含むアジア地域の企業調査を進め、「魅力的なビジネス」を保有する優良な銘柄を発掘し、引き続き差別化されたポートフォリオ運用を行っていく方針です。

《「スパークス・日本アジア・ベストピック・ファンド(ヘッジ型)」の株式市場変動リスク低減について》

当月、「スパークス・日本アジア・ベストピック・ファンド(ヘッジ型)」は、株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、投資する投資信託証券を通じて投資する株式の市場感応度(ベータ値)に応じて、投資する投資信託証券を通じて株価指数先物取引等の売建て額を調整しました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。